1 (1) $7\frac{1}{9}\times\left(\frac{6}{7}-0.75\right)\times 5.25$

$=\frac{64}{9}\times\left(\frac{6}{7}-\frac{3}{4}\right)\times\frac{21}{4}$

$=\frac{64}{9}\times\frac{3}{28}\times\frac{21}{4}$

$=4$

(2) $1\frac{2}{3}-\left(\square+0.5\right)\div\frac{4}{7}=\frac{1}{24}$

$\left(\square+0.5\right)\div\frac{4}{7}=1\frac{2}{3}-\frac{1}{24}$

$=1\frac{5}{8}$

$\square+0.5=\frac{13}{8}\times\frac{4}{7}$

$=\frac{13}{14}$

$\square=\frac{13}{14}-\frac{1}{2}$

$=\frac{3}{7}$

(1)	(2)
4	$\frac{3}{7}$

2 ① 100 円玉を使わないときの金額は，下の表のようになる。

50円玉の枚数	0	0	0	1	1	1	2	2	2	3	3	3
10円玉の枚数	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2
金額	0	10	20	50	60	70	100	110	120	150	160	170

② 100 円玉を 1 枚使うときの金額は，上の表の金額に 100 を加えた値である。

100 , 110 , 120 , 150 , 160 , 170 , 200 , 210 , 220 , 250 , 260 , 270

①②の中で，金額が重なっているのは，以下の 6 通りである。

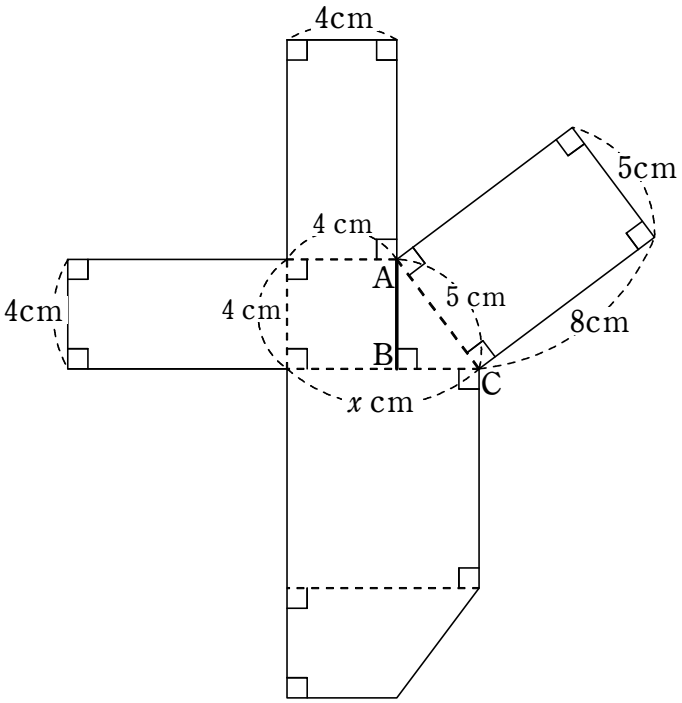
100 円，110 円，120 円，150 円，160 円，170 円

また，0 円は支払える金額からのぞくので　　$12\times 2-6-1=17$ (通り)

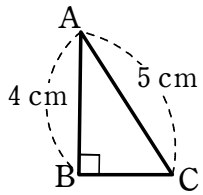
17 通り

注）①で 50 円玉を 2 枚以上使ったとき，②で 100 円玉 1 枚におきかえることができる。

3



(1)　上の図のように直角三角形 ABC を作る。辺 AB の長さは 4 cm，辺 AC の長さは 5 cm であるから，三角形 ABC は 3:4:5 の直角三角形である。



したがって，辺 BC の長さは 3 cm である。

x の値は

$$4+3=7\ (\mathrm{cm})$$

(2)　底面の形は台形であるから，底面積は

$$(4+7)\times 4\div 2=22\ (\mathrm{cm}^2)$$

高さは 8 cm であるから，四角柱の体積は

$$22\times 8=176\ (\mathrm{cm}^3)$$

(1)	(2)
7	176　cm^3